

## 第74回 FM八女番組審議委員会 議事録

- 1 開催日 令和6年8月29日（木） 午後4時00分を予定していたが、  
台風接近の為、書面開催に変更した。
- 3 出席者 レポート提出委員 7名 青木歳男 元村乗子 酒井裕樹 山口寛記  
下川さゆり 大籠誠 中村元紀  
委員総数 7名
- 4 議題 「保護司会がお送りする『社会を明るくする運動』強調月間ラジオ放送」  
令和6年7月8日（月） 13:00～14:00 放送分
- 5 議事の概要 放送事業者が事前にCDに収録し、資料とともに各委員へ届けていた。  
上記の番組について、モニター後の感想を全委員に述べていただいた。  
※台風接近の為、書面にて実施した。
- 6 番組内容 八女地区保護区保護司会の活動紹介番組

### 7 審議内容

- ・保護司という言葉は聞いたことがあったが、具体的な活動などは知らなかったもので、今回の放送で知ることができた。興味深く最後まで聞いた。
- ・硬い内容の番組だとわざとらしさが出てしまいそうなどところがあるが、MCの木下が自然で安定していたので、非常に自然ですと番組に入って聞くことができた。
- ・完全にボランティアで、罪を犯した人の社会復帰に向けて取り組んでおられることに、衝撃を受けた。一般にもっと知られてほしい。
- ・刑期を終えて、今度は自身が保護司になった方がいることは、心強いと感じた。
- ・ゲストの方が、（審議員ご自身の）職場の先輩として知っている人であったが、退職後に保護司会をされていることを、ラジオをきいて初めて知った。保護司は様々な職業の方が活動していることが分かった。
- ・最初は堅い内容になるかと思ったが、複数人でのトークで丁寧に説明してあったので理解しやすく、各地の様子など比較して理解ができた。
- ・「誰でも間違いは犯すからこそ、前に進みたい人の背中を押す社会を目指していきたい」という言葉が胸に残った。
- ・ゲストの方が、ところどころ早口で聞き取りにくい部分があったので、もう少しゆっくりお話しいた

だけると助かる。

- ・ 保護司の方が、罪を犯した人たちに対しての具体的な活動内容を、もっと伝えられてもよい。
- ・ 地域の理解と協力が必要だと言われたが、具体的に求めることを番組で聞き出してほしかった。
- ・ 弁論大会の告知だけではなく、実際にあった弁論大会の音源を流すことは、斬新な試みで様子が分かりやすく大変良いと感じた一方、録音音源のノイズが多く、音も反響していて内容が聞き取りにくかった。
- ・ 弁論大会の最優秀賞方々の弁論の内容が、「がみじい、がみばあ」というキャッチーなキーワードとアニメにそれらを投影させる弁論で素晴らしかった。身近な体験からいじめやSNSの問題解決や他人に注意できる大人になるための提言を行う様子が大変すばらしかった。社会的啓蒙という以外にも、カツを入れてもらいたい大人にもぴったりのイベントだと感じた。
- ・ 弁論の内容のレベルの高さに驚いた。
- ・ 作文の内容、社会を明るくするために大切な「いじめをなくすこと」「偏見をなくすこと」は、非常に共感ができた。
- ・ 作文は、学校からの申し込みということで、ラジオで伝える効果は薄いのではと感じた。
- ・ 普段光の当たらない保護司さんを取り上げるというコミュニティFMならではの意義あるプログラムだと思った。
- ・ 内容が確かで濃いものとなっており、お堅い番組としては珍しく聞いていて楽しめる番組で、十分合格点に達して面白かった。
- ・ 木下の明るい声と落ち着いた保護司さんの声とのバランスが、合っていたと思う。ゲストの方も楽しんで出演されているように感じた。また来年度も聴きたい。

## 8 審議機関の答申又は意見の概要の公表

公表の方法 自社ホームページへ掲載

## 9 次回の番組審議委員会

日時 令和6年10月24日（木） 午後4時00分

場所 FM 八女会議室（八女市役所黒木支所 2 階）

社名	一般財団法人 FM八女
----	-------------